

若鷲

ホームページ



上野原中学校学校だより
第 1 号

令和8年4月27日発行

文責 校長 長谷川英信

57名の新入生！入学おめでとう！

上野原中学校、令和8年度がスタートしました。4月8日の午前中に、新2・3年生の始業式がありました。進級の希望に満ちた表情で立派な態度で臨んでいました。また12名の新任職員を温かく迎え入れてくれ、各学年と生徒会の代表の生徒が1年間の抱負を力強く述べました。続いて新しい学年の職員が発表され、笑顔と大きな拍手をする姿にとっても感動しました。さらに、午後からは新入生57名を迎える入学式が行われました。新入生の皆さんは、とても緊張している様子でしたが、担任の呼名に大きな声で返事をしていました。また、新入生代表の誓いの言葉も、中学校という新しい環境に希望を膨らませ、全力で頑張ろうとする強い決意を感じさせる立派なものでした。この入学式の会場も新3年生が、7日の日に登校し学年で力を合わせ清掃と準備をしてくれました。最高学年として上中を引っ張っていくといった強い思いが伝わりました。新2・3年生の成長は昨年度末から本当に大きくしかも遅くなりました。

今年度は、生徒が175名、職員が34名でスタートします。全校一人一人が、夢と希望を持ち将来を見据え、自らの目標に向かって粘り強い努力ができるそんな1年間にしてもらいたいです。保護者の皆様、地域の皆様、今年度も本校の教育活動にご理解とご協力をよろしくお願いいたします。我々、34名に増えた職員も一丸となって、上中生の教育に邁進して参ります。今後ともよろしくお願いいたします。



今年度初めての授業参観がありました！緊張しながらも頑張りました！

4月20日(月)に今年度初めての授業参観がありました。クラス替え、そして新しい担任の先生の授業に多くの保護者の方々が来てくれました。生徒たちは、緊張しながらも普段に増して頑張る様子がみられました。先生方も保護者の方々に向けいつも通りではありますが、生徒に寄り添った素晴らしい授業を進めていました。ここ数年で学校教育はめまぐるしく変わってきています。1人1台端末を活用した授業の進め方や、教師もICTを積極的に活用した授業展開を求められるようになりました。しかしながら、昔より重要視されている「深く考えること」「新しい知識を得ること」「しっかり覚え身につけること」このことは変わりません。どの教科の先生方も教科の専門家として教科を学ぶ楽しさを重んじながら教壇に立っています。生徒自身が自ら進んで学べるよう学びへの関心が増してくることを心から望んでいます。保護者の皆様、授業参観そして学年総会、本当にありがとうございました。今年度も、保護者の皆様と協力し、上中の教育を進めて参ります。よろしくお願いいたします。



生徒会主催、新入生歓迎会が行われました

4月15日(水)に生徒会主催の「新入生歓迎会」が行われました。この会に向け、生徒会本部役員は昨年度末から準備を進めてきました。3年生が主体となって生徒会歌・校歌の練習会の企画や生徒会の仕組みの説明、年間行事の説明、部活動・委員会紹介など1年生を飽きさせない企画をパソコンを使い、動画を取り入れ行っていました。特に、「生徒心得」については、2年前に生徒の手による決まりの見直しを行いました。「自分たちの手で決まりをつくり、自分たちで守っていく」立派な取り組みをこれまでしてきました。その思いを1年生にもしっかり伝えられるよう、取り組んでいました。生徒達が決めた自分たちの約束を、全校生徒で呼びかけ、自ら進んで守ることができるよう一人一人の意識を高めてもらいたいものです。生徒達に大いに期待しています。



【学校教育目標】

『 自 利 利 他 』

【目指す学校像】

一人一人が大切にされる学校

【目指す生徒像】

- 1 明るい挨拶と元気な歌声、思いやりがあり奉仕活動に積極的に取り組む生徒
- 2 確かな学力を身につけ、学び合う生徒
- 3 困難に直面しても粘り強く取り組み、健康で安全な生活を送る生徒

一昨年度より、学校教育目標が変わりました。生徒達には昨年度から全校の集会等で、何度も伝えてきました。時代の移り変わりに対応し、より学校の実態に合ったものにした経過があります。コロナ禍以降世間では、「人との関わりが稀薄になってしまった」と言われています。学校教育では、集団にこだわり、集団において学びべき多くのものがあります。子どもたちは幼い頃、「自分が・・・」と自分本位的な考え方が中心で、それが受け入れられなければ我慢ができないことが多かったと思います。しかし、中学校の思春期を過ぎると、「自分とは違う他人の存在」を認め、相手の言動に影響を受けるようになります。はじめは素直に受け入れられず、葛藤しながら成長していきます。中学生の時期は、まさに相手との関わりの中で、自分を見つめ直し相手を受け入れ互いに良い関係を築ける力を学ぶ段階です。ですので、相手とのトラブルは必ず起こります。むしろ起きた方が成長できるのです。大切なのは、トラブルが起きたとき、どのように対処していくか、どのように乗り越えていくかを考え、実行することです。このような成長の時期に、「自利利他」・・・自分の成長(努力)は他人の成長(頑張り)に繋がっていく。この言葉は今の中学生には大きな意味を持っています。今年度も全職員が一丸となって、生徒一人一人に寄り添い、子供たちの成長を全力でサポートしていきます。職員も、この「自利利他」を常に意識し、あらゆる学校の教育場面でこだわった指導をしていきます。保護者の方々のご理解とご協力が必要となります。子どもたちを中心に据え、学校、家庭が連携して子どもたちの成長をさらに大きくしていきたいと思っています。是非、ご支援をよろしくお願いいたします。また、本校はコミュニティースクール校です。「開かれた学校」でなくてはなりません。いつでも学校へ来ていただき、お話ができればと考えています。よろしくお願いいたします。

※表題の中のQRコードを読み取り、上野原中のホームページもご覧ください。